各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

早期・早植え水稲のいもち病の発生状況(技術情報第4号)について(送付) このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考としてご活用 下さい。

記

いもち病の感染に好適な条件が続いており、今後の発生は増加すると予想されますので、ほ場の発生状況を確認し、適期防除を行いましょう。

## 1 発生状況

- 1) 6月中旬に実施した巡回調査では、葉いもちの発生は、早期水稲で発病株率0.67%(平年5.27%)と平年に比べ少なく、早植え水稲では発病株率0.50%(平年0.03%)と、平年に比べやや多かった。
- 2) その後、6月下旬に天草地域の普及指導員や病害虫防除員への聞き取り調査を行ったところ、6月20日以降いもち病の発生を認め、一部のほ場では進展型の病斑も確認されている。
- 3) BLASTAMによる感染好適条件の出現回数が増加しており、本病が発生しやすい条件となっている(表 1)。
  - (※感染好適条件出現の約1週間後に初発病斑が認められ、約2週間後に病斑が目立ってくる。)

「http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H27/data/futusaku/blastam.pdf」参照

5) 福岡管区気象台が6月25日に発表した向こう1ヶ月の予報は、気温が平年より低く、 降水量は並~多い予想であり、併せて23日には、長雨と日照不足に関する熊本県気象 情報第1号が熊本地方気象台から出ている。このため、山間・高冷地のみならず、全 地域的に感染に好適な条件となっている。

## 2 防除対策

- 1) 穂いもちは発生後の防除が困難であるため、葉いもちの発生状況を確認し、上位葉への進展が見られた場合は、ただちに防除を行う。
- 2) 粉剤や水和剤は、穂ばらみ期~穂揃い期に散布する。
- 3) 粒剤は出穂前に散布するが、薬剤の種類によって使用時期が異なるので、確認して使用する。
- 4) QoI 剤を含有する育苗箱剤を使用したほ場で発生が認められた場合は、他系統の薬剤を選び追加防除する。
- 5) 農薬を使用する際は、安全使用に努める。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物 及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂 業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

表1 BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の出現状況

発生指標	●∶好適条件	1:準好適条件1	2:準好適条件2	3:準好適条件3	4:準好適条件4
	一:好適条件なし	?:判定不能			
	•		•		

		I	di an			Arts 1	W.1.b				_ ~		Los eta			1.75			Li sm
日付	鹿北	南小国	岱明	菊池	阿蘇乙姫	熊本	益城	阿蘇山	南阿蘇	高森	三角	甲佐	松島	本渡	八代	水俣	人吉	上	牛深
6/1			_	_	_	_	_	?	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
6/2	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
6/3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
6/4	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
6/5	_	_	-	-	-	_	_	_	4	_	_	-	-	_	_	_		_	_
6/6	_	_	_	_	_	-	_	_	_	1	-	-	1	_	-	1	-	ı	_
6/7	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	-	_
6/8	1	1			4			_	4	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
6/9			_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
6/10			_	_			1	4	1	1			1	1	•				
6/11				_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
6/12	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
6/13			_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
6/14	_	_		4	_	_	_	_	_	_	_	_	_			4	_	_	_
6/15			_		4	_		_		_	_		_						
6/16	_	_			_			_	_	1					_	_	_	_	_
6/17				_	3	_			4	_	_			_	_	_	_	_	
6/18		_	_		_	_					_		_	_	_	_	_	_	
6/19		1		_	_			_	_		_		_	1	_	_	1	_	
6/20		1	_		1	_	•	4	1	1	_	_	_	_	_	_	_	•	
6/21			_	_		_		_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
6/22			_				_		_				_	4	_	_	_		4
6/23	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	4	•	_	
6/24	4	1			1			1	4		•								_
6/25				•	_	_	•	_	•	•	•	•	•	_		_	_	_	_
6/26				_					_		_						_		
6/27		<u> </u>					4				_	_			_		-	_	
6/28		_	_			•	•	_		_	_	_	_	_		_	_	_	
6/29				_			_	_	_		_	_					_		
6/30	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_		_	_	_

注) ●:好適条件(湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した)

1: 準好適条件(前5日間の平均気温は20℃未満だが、湿潤が10時間以上)

2: 準好適条件(前5日間の平均気温は25℃を越えているが、湿潤が10時間以上)

3: 準好適条件(湿潤期間中の平均気温は15~25℃でないが、湿潤が10時間以上)

4: 準好適条件(湿潤期間中の気温は比較的低温いが、湿潤が10時間以上)

-:好適あるいは準好適条件の出現なし

?:判定不能

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所 病害虫研究室 予察指導係)

担当:山口 TEL 096-248-6490